



平成 28 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 アクサスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 久岡 卓司
(J A S D A Q ・ コード 3 5 3 6)
問合せ先 取締役 細見 克行
(TEL. 06-6267-0090)

**上場廃止となった子会社（株式会社雑貨屋ブルドッグ）
に関する決算開示について**

平成 28 年 3 月 1 日をもって完全子会社化した株式会社雑貨屋ブルドッグに関する平成 28 年 8 月期第 2 四半期決算短信（平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上



平成 28 年 8 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 28 年 4 月 14 日

会 社 名 株式会社雑貨屋ブルドッグ
U R L <http://www.z-bulldog.co.jp/>

代 表 者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 久岡 卓司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 細見 克行 (TEL) 06 (6260) 5505

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 8 月期第 2 四半期の業績 (平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 8 月期第 2 四半期	342	△80.0	△173	—	△176	—	△185	—
27 年 8 月期第 2 四半期	1,715	—	△695	—	△713	—	△1,202	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 8 月期第 2 四半期	△18.12	—
27 年 8 月期第 2 四半期	△117.20	—

(注)当社は、平成 26 年 8 月期第 2 四半期において連結財務諸表を作成していたため、平成 26 年 8 月期第 2 四半期個別財務諸表の開示を行っておらず、平成 27 年 8 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28 年 8 月期第 2 四半期	984	△332	△33.7	△32.38
27 年 8 月期	1,385	△143	△10.3	△13.97

(参考) 自己資本 28 年 8 月期第 2 四半期 △332 百万円 27 年 8 月期 △143 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 8 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28 年 8 月期	—	0.00	—	—	—

(注)平成 28 年 2 月 25 日付で当社の普通株式が上場廃止となったことを踏まえ、配当予想および業績予想は行っておりません。なお、当社の完全親会社である、アックスホールディングス株式会社の平成 28 年 8 月期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、アックスホールディングス株式会社の本日付「平成 28 年 8 月期の通期業績予想及び配当予想のお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年8月期2Q	10,258,453株	27年8月期	10,260,500株
② 期末自己株式数	28年8月期2Q	－株	27年8月期	2,047株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年8月期2Q	10,258,453株	27年8月期2Q	10,258,453株

(注) 当社は、平成28年2月29日付で全ての自己株式を消却しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施していません。

なお、東海財務局より有価証券報告書の提出を要しない旨の承認（金融商品取引法施行令（昭和40年政令第321号）第4条第2項規定）を受けており、四半期報告書の提出予定はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	5
(1) 経営成績に関する説明	5
(2) 財政状態に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期財務諸表	7
(1) 四半期貸借対照表	7
(2) 四半期損益計算書	8
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成27年9月1日～平成28年2月29日）の我が国経済は、経済政策、景気回復期待及び国際情勢等を背景とした円安基調が継続し、政策金利により日経平均株価は持ち直しつつありました。しかしながら直近では年明け以降、中国経済の失速懸念や米国政策金利の動向及び中東・東アジア情勢の緊迫化等により、円高株安への基調変化が表面化しつつあります。そのような中消費者の購買状況は、引き続きインバウンド消費が継続するとみられるものの、名目賃金上昇が伴わない中、生活防衛意識もあり、内需の回復は依然緩やかとなっております。停滞基調の長期化懸念や消費税増税も迫ることから、アプローチする市場及び方法を幅広く検討し、厳選集中するとともに、機動的な事業戦略を実行すべきであると考えております。

このような状況下当社は、当第2四半期累計期間におきまして平成28年3月1日のアクサス株式会社（以下「アクサス」といいます。）との共同株式移転によるアクサスホールディングス株式会社の設立に先立ち、アクサスとの円滑な融合と、統合後のグループ成長を達成するため、店舗網、人員・組織体制及びインフラ環境等の社内整備を引き続き実施してまいりました。

これに伴い、当第2四半期会計期間におきまして、2店舗につき閉店セール実施後閉鎖を行いました。併せて、保有する不動産等を有効活用し収益部門とする為、積極的に不動産事業を実施しており、当第2四半期会計期間にて前述閉鎖のうち1店舗を含む2箇所を賃貸し、計16箇所を賃貸している状況であります。

これらの結果、売上高は342百万円（前年同期比80.0%減）となり、営業損失は173百万円（前年同期は695百万円の営業損失）、経常損失は176百万円（前年同期は713百万円の経常損失）となりました。特別損益及び法人税等を加えまして、四半期純損失は185百万円（前年同期は1,202百万円の四半期純損失）となりました。

また、セグメントの業績は、以下のとおりであります。

<小売事業>

小売事業部門では、前述のとおり当第2四半期会計期間におきまして2店舗の閉鎖を実施しております。併せて前期から実施しております経営合理化の結果、店舗数5店舗（前年同期60店舗、91.7%減。なお、平成28年4月14日現在2店舗。）となり、売上高262百万円となりました。

<不動産事業>

不動産事業部門では、前述のとおり当第2四半期会計期間におきまして2箇所の賃貸を実施し、合計16箇所を賃貸している状況であり、売上高67百万円となりました。当第2四半期累計期間におきましては、売上原価に、空き物件の地代、仲介手数料及び修繕費等、賃貸開始までにかかった諸費用7百万円を計上しております。

<その他>

当セグメントは、平成27年11月を以て廃止した卸売部門が含まれ、当該部門の売上高13百万円が計上されております。

なお、第3四半期会計期間におきましては、三重・大阪・兵庫の3店舗を当社からアクサスに事業譲渡することで、アクサス店舗網との連携を高めると共に、グループでの経営効率の向上を図っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は984百万円となり、前事業年度末に比べ400百万円減少いたしました。これは主に、流動資産においては、現金及び預金72百万円、商品77百万円及び売掛金22百万円がそれぞれ減少し、固定資産においては、敷金及び保証金154百万円が減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は1,316百万円となり、前事業年度末に比べ211百万円減少いたしました。これは主に、流動負債における1年内返済予定の長期借入金25百万円、未払法人税等26百万円、その他111百万円、固定負債における長期借入金14百万円、流動負債及び固定負債における資産除去債務が35百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は332百万円の債務超過であり、前事業年度末に比べ188百万円債務超過額が増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少185百万円、その他有価証券評価差額金の減少3百万円によるものであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度の決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成24年8月期から平成27年8月期まで4期連続営業損失となっており、当第2四半期累計期間においても引き続き173百万円の営業損失を計上し、332百万円の債務超過となっております。これにより継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該事象又は状況への対応の一環として、平成28年3月1日に計画しておりましたアックスとの共同株式移転による共同持株会社を設立し、経営統合が実現したことにより、企業グループでの店舗網の合理化及び間接部門の共通化が実現し、大幅な経費の減少が見込まれます。これにより現有する黒字セクターである不動産部門等の将来回収可能価額を中心として企業活動の維持が可能であるという見通しであります。また、資金繰りにつきましては、貸借対照表上における現金及び預金127百万円があり、金融機関との取引で、財務制限条項や期限の利益喪失の権利行使等のリスクは存在していません。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	200,057	127,212
売掛金	26,191	3,646
商品	242,622	165,337
その他	129,949	86,489
貸倒引当金	△9,155	△4,898
流動資産合計	589,666	377,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	134,289	122,323
土地	285,373	285,373
その他(純額)	59,910	40,738
有形固定資産合計	479,573	448,435
無形固定資産		
投資その他の資産	3,187	2,846
敷金及び保証金	300,088	145,704
その他	22,867	13,775
貸倒引当金	△10,369	△3,966
投資その他の資産合計	312,586	155,514
固定資産合計	795,347	606,796
資産合計	1,385,013	984,585
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,944	19,048
短期借入金	950,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	65,487	40,485
未払法人税等	29,058	3,023
資産除去債務	38,708	8,274
その他	176,047	64,110
流動負債合計	1,285,246	1,084,943
固定負債		
長期借入金	43,000	29,000
退職給付引当金	7,786	2,644
繰延税金負債	—	4,804
役員退職慰労引当金	6,127	6,252
資産除去債務	36,276	30,720
その他	149,855	158,368
固定負債合計	243,046	231,789
負債合計	1,528,292	1,316,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,066,567	2,066,567
資本剰余金	2,432,864	2,432,864
利益剰余金	△4,649,468	△4,836,508
自己株式	△1,191	—
株主資本合計	△151,227	△337,076
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,948	4,928
評価・換算差額等合計	7,948	4,928
純資産合計	△143,279	△332,147
負債純資産合計	1,385,013	984,585

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
売上高	1,715,036	342,473
売上原価	1,204,699	265,783
売上総利益	510,337	76,690
販売費及び一般管理費		
支払手数料	146,729	65,992
その他	1,059,205	184,148
販売費及び一般管理費合計	1,205,935	250,141
営業損失(△)	△695,597	△173,451
営業外収益		
受取利息	1,299	774
受取配当金	70	92
貸倒引当金戻入額	—	4,834
為替差益	3,138	—
償却債権取立益	5,400	—
その他	14,818	3,169
営業外収益合計	24,727	8,871
営業外費用		
支払利息	16,505	6,431
リサイクル委託費用	14,676	—
その他	11,779	5,173
営業外費用合計	42,961	11,605
経常損失(△)	△713,831	△176,185
特別利益		
固定資産売却益	2,718	10,583
特別利益合計	2,718	10,583
特別損失		
賃貸借契約解約損	46,616	—
固定資産除却損	81	5,161
減損損失	102,923	2,661
閉店損失	323,274	6,652
その他	167	0
特別損失合計	473,062	14,475
税引前四半期純損失(△)	△1,184,175	△180,077
法人税、住民税及び事業税	18,130	3,384
法人税等調整額	—	2,385
法人税等合計	18,130	5,770
四半期純損失(△)	△1,202,305	△185,848

- (3) 四半期財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記の注記)
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月17日開催の取締役会決議に基づき、平成28年2月29日付で、自己株式2,047株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,191千円減少し、当第2四半期会計期間末において利益剰余金が△4,836,508千円、自己株式が零となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

当社の報告セグメントは、小売事業及び卸売事業であります。卸売事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年9月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期財務 諸表計上額 (注) 3
	小売事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	262,039	67,174	329,213	13,297	342,511	△38	342,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	262,039	67,174	329,213	13,297	342,511	△38	342,473
セグメント利益又は 損失(△)	△44,549	4,755	△39,793	△24,485	△64,278	△109,172	△173,451

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及び閉鎖済店舗を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△109,172千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,172千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来当社は、小売事業が主体であり、他の事業の全セグメントに占める割合が僅少でありましたが、不動産事業の全セグメントに占める割合が高まったため、開示情報としての重要性を鑑み、当事業年度よりセグメント情報の記載を実施致しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報を当第2四半期累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、小売事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、開示を行っておりません。

(重要な後発事象)

平成27年11月27日開催の定時株主総会において、当社及びアクサスが共同株式移転により完全親会社「アクサスホールディングス株式会社」を設立することが承認可決され、平成28年3月1日に同社が設立されております。